

2018年9月19日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## ラグビーワールドカップ 2019 まで 1 年。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

### 第 73 回 坂田 好弘 氏

(“空飛ぶウイング”として世界に名を轟かせ、東洋初のラグビー殿堂入りした元日本代表)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。ラグビーワールドカップ 2019 を来年に控えた本年度は日本のラグビーを支えてきた人びとをテーマに、ラグビー元日本代表で「空飛ぶウイング・サカタ」として世界に名を轟かせ、2012年には東洋人で初となる国際ラグビー殿堂入りを果たした坂田好弘さんにご登場いただきます。

坂田さんには、高校入学とともにスタートした17年間の選手としての現役時代、36年間に及ぶ指導者時代、そして今後の日本のラグビーについてお話を伺いました。

インタビュアーには、産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出していただきました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

## 『世界が認めた東洋一のレジェンド』 坂田 好弘 氏

【公開日時】2018年9月19日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdId/270/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】始まりは合格発表の日の運命的な出会い/入部1週間での初試合初トライ/NZを震撼させた大番狂わせの快挙/オールブラックス入りを切望された実力/就任5年目に訪れた指導者としての転機/最重要課題は子どものやる気に応える環境づくり ほか



《プロフィール》

### 坂田好弘(さかた よしひろ)氏

1942年生まれ。高校からラグビーをはじめ、19歳で日本代表に初選出。1968年、日本代表として参加したニュージーランド遠征でオールブラックス・ジュニア相手に4トライをきめて大金星をあげる。引退後は大阪体育大学ラグビー部監督に就任。2012年、ラグビー殿堂入りを果たす。現在は関西ラグビーフットボール協会会長を務める。

### 佐野 慎輔(さの しんすけ)氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)

TEL:03-6229-5300 info@ssf.or.jp